

## 今号の作業

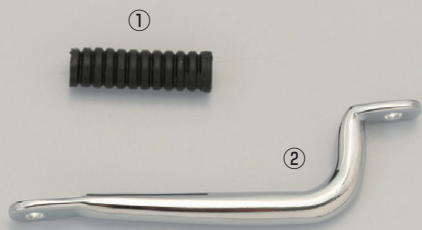
# リヤダンパーを取り付ける



今号では22、23号で提供し、31号でステッカーを貼ったリヤダンパーをリヤフォークに取り付ける。これでリヤフォークはメインフレームに完全に組み付けられることになる。また、キックスターラバーをスターターアームに取り付ける作業も行う。リヤフォークの取り付け作業はやや難しいので、慎重に作業を進めよう。

### 今号のパーツ

- ①キックスターラバー
- ②サイドグリップ



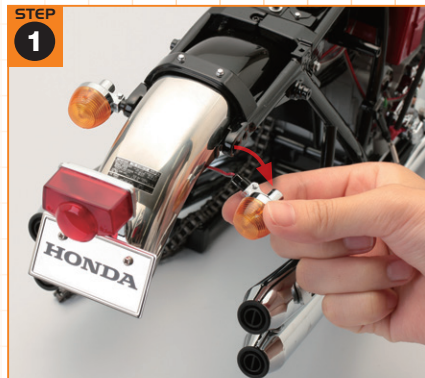
#### 用意するもの

- ・メインフレーム(59号で組み立てたもの)
- ・リヤフォーク(57号で取り外したもの)
- ・リヤダンパー×2(31号でステッカーを貼ったもの)
- ・ダンパーエンド固定ピン×2(22、23号で各1本提供したもの)
- ・ビス(Fタイプ)×2(22号、23号で提供したもの)
- ・ワッシャー×1(32号で提供したもの)
- ・樹脂ワッシャー×2(49号で提供したもの)
- ・チェーンカバー(57号で取り外したもの)
- ・フォークピボットシャフト(57号で取り外したもの)
- ・メタルナット(57号で取り外したもの)
- ・ビス(Rタイプ)×1(57号で提供したもの)
- ・ビス(Wタイプ)×1(57号で提供したもの)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

### 使用する道具

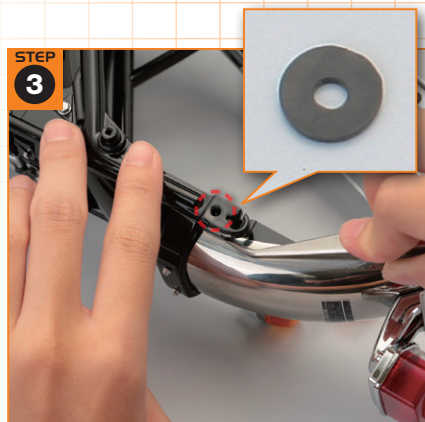
- ・クロスレンチ(9号で提供したもの)
- ・ピンセット
- ・ラジオペンチ
- ・1.5mm六角レンチ(10号で提供したもの)
- ・グリソ(6号で提供したもの)



59号で組み立てたメインフレームを用意し、リヤウinker右を取り外しておく。ケーブルを傷めないよう、ゆっくりと慎重に取り外すこと。



写真と照らし合わせ、メインフレーム右の後端部とリヤフェンダーとの間に、わずかな“すき間”があることを確認する。



メインフレームの右側を上にして横倒しにし、49号で提供した樹脂ワッシャー1枚を、②で確認したすき間にピンセットを使って差し込む(すき間が大きければ2枚に増やす)。このとき、ワッシャーの穴と、写真で示したフレーム後端部の穴位置を合わせる。なお、②ですき間が確認できない、または非常に狭い場合は、現段階でワッシャーを無理に差し込む必要はない。ある程度組み上がった後の号で微調整をするので、樹脂ワッシャーは保管しておこう。



フレーム後端部の穴に、57号で提供したRタイプのビスを差し込み、9号で提供したクロスレンチを使ってねじ込む。RタイプのビスとWタイプのビスは酷似しているので、長さを比べて判別しよう。短い方がRタイプだ。



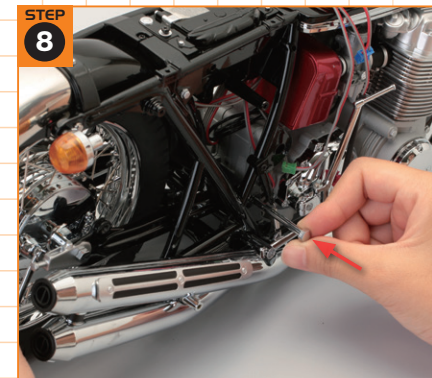
Rタイプのビスをねじ込んだらメインフレームを起こし、取り外したリアウインカーを再び取り付ける。このときも、ケーブルを傷めないよう注意しよう。



メインフレーム左側を上にして横倒しにし、57号で取り外したリアフォークを取り付ける。メインフレームに対し、リアフォークを写真のように傾けた状態で後方から差し入れ、ドライブチェーンをスプロケットにかみ合わせる。



リアフォークを真っすぐな状態に戻しながら、メインフレームの穴とリアフォーク先端部の穴を合わせるようにセットする。同時にリアタイヤをゆっくりと回しながら、ドライブチェーンをスプロケットに取り付ける。⑥と⑦の作業はパーツを動かせる範囲が限られているので、慎重に行おう。差し入れる角度が正しければ、力を入れる必要はない。



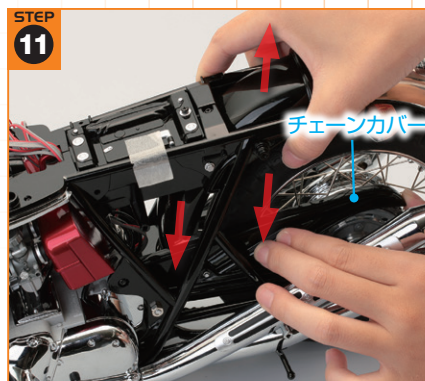
57号で取り外したフォークピボットシャフトを用意し、メインフレームの穴に差し込み、そのままリアフォーク先端部の穴を通し、シャフト先端をメインフレーム左へ貫通させる。



57号で取り外したメタルナットを、突き出したフォークピボットシャフト先端に取り付け、クロスレンチを使って締め込む。



メインフレーム右の内側・下部にあるリアブレーキスピンドルに、ラジオベンチを使ってリアブレーキロッドを取り付ける。取り付け方法は54号の⑰・⑱を参照しよう。



57号で取り外したチェーンカバーを用意し、リアフォーク左側に取り付ける。このとき、メインフレーム後部を持ち上げ、リアフォークが下がった状態で行うこと。



リアウインカー左を取り外す。ケーブルを傷めないよう、ゆっくりと慎重に作業しよう。



STEP 13  
31号でステッカーを貼ったリヤダンパーを1本用意する。次にメインフレームを左側が上になるように横倒しにし、リヤフォークを下方向へ下げた状態にしてから、写真の位置にリヤダンパー下端をセットする。



STEP 14  
22、23号で提供したダンパーエンド固定ピン(計2本)を用意する。まず1本を10号で提供した1.5mm六角レンチの先端に差し込んで、写真に示したビス穴へセットする。



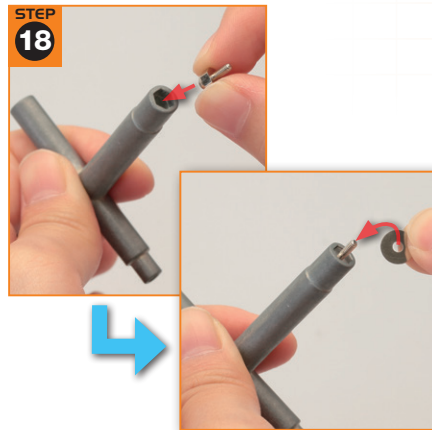
STEP 15  
六角レンチを右に回し、ダンパーエンド固定ピンをねじ込んでリヤダンパー下部をリヤフォークに取り付ける。ねじ込む深さは、ダンパーピンの上部(レンチが出ている側)が、リヤダンパー下部の表面と“ツライチ(出っ張らず、平らな状態のこと)”になればOKだ。



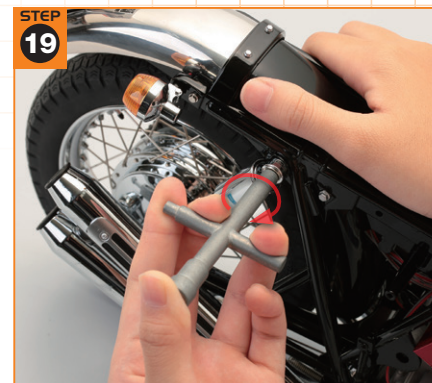
STEP 16  
メインフレームを裏返し、13~15と同じ要領で、リヤフォーク右側にもリヤダンパーを取り付ける。



STEP 17  
右側に取り付けたリヤダンパーの上部を、メインフレームのピボット部に取り付ける。リヤダンパー上部は片面がくぼんだ形状になっているので、そこに合わせるようにピボット部をはめ込む。



STEP 18  
22号で提供したFタイプのビスを、クロスレンチの2番目に大きい穴にセットし、さらに32号で提供したワッシャーをネジ部分に通しておく。



STEP 19  
リヤダンパーピボット部のビス穴へ18でワッシャーを通したFタイプのビスをセットし、ねじ込む。ある程度までビスをねじ込んだら、クロスレンチをラジオペンチに代えてねじ込む。ねじ込む量は“ビスとフレームの間にすき間ができない程度”でいい。



STEP 20  
次にメインフレーム左側に取り付けたリヤダンパーの上部を、メインフレームのピボット部に取り付ける。リヤダンパー上部は片面がくぼんだ形状になっているので、そこに合わせるようにピボット部をはめ込む。



②サイドグリップを用意し、写真の向きで前後のビス穴にセットする。



サイドグリップ後端のビス穴に、57号で提供したWタイプのビスを差し込む。こちら側はサイドグリップ分の厚みがあるので、樹脂ワッシャーを差し込む必要はない。



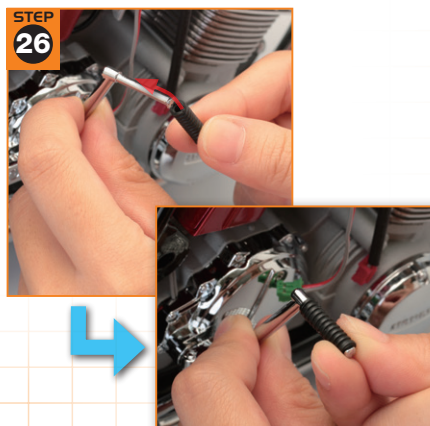
クロスレンチを使い、Wタイプのビスをねじ込む。このとき、サイドグリップの前側が動かないよう押さえておくこと。



23号で提供したFタイプのビスを⑬と同様クロスレンチにセットして、サイドグリップ前側のビス穴へねじ込む。



取り外したリヤウinker左を再び取り付け。ケーブルを傷めないよう注意しよう。



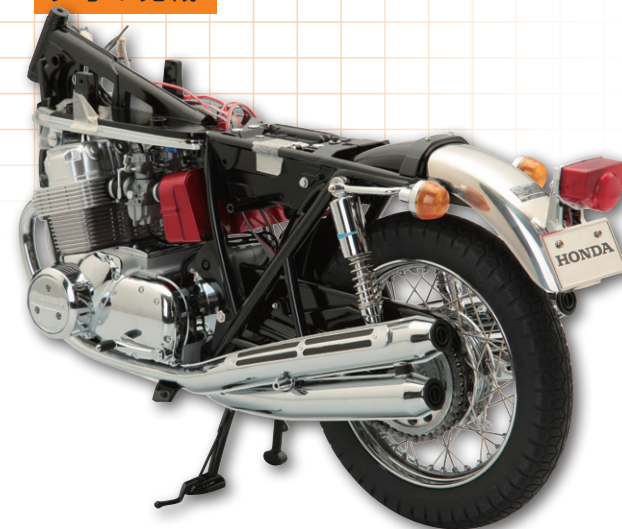
①キックスターラバーを用意し、メインフレーム右側面にあるキックスターアーム先端にはめ込む。事前にアーム先端部に、6号で提供したグリスをごく少量塗布しておくとはめ込みやすい。



スタンドを収納する

メインフレームの前側を少し持ち上げるような状態でメインスタンドを収納し、リヤ部分を軽く押してサスペンションの作動状況を確認しよう。左右のリヤダンパーが作動していればOKだ。

### 今号の完成



これで今回の作業は完了だ。リヤフォークと左右のダンパーが取り付けられたことで、マシンの主要な構造物はほぼ組み上がったことになる。今後は外装パーツ類を取り付けていくので、組み立てたメインフレームは次回の作業に備え、大切に保管しよう。